



～まちなかの個店を五感で感じてみませんか～  
「NUMAZU まちの感触 Vol.8 集」を発行します

要 旨

沼津駅前のまちなみをいつもと違った視点で楽しんでいただくことを目的に、「五感で感じるまちなか商業」をコンセプトとして、駅周辺の個店の魅力をテーマごとに編集した魅力発見BOOK「NUMAZU まちの感触」。今年度最終号 vol.8「集」を発行します。

概 要

名 称 NUMAZU まちの感触 vol.8 『集』

発行日 令和4年12月28日(水)

- ・令和2年度より発行している「NUMAZU まちの感触」。今年度最終号となる今回は、『集』をテーマに特徴ある個店を取材。
- ・「居心地の良い空間に」「あのお店のあの人に」集まりたい！  
「マニアックなあの商品を買うにはこのお店！」  
まちなか個店ならではの様々な『集』を紹介します。
- ・制作は「NUMAZU DESIGN CENTER」の大木真美さんを中心とした、地元沼津で活躍中のクリエイター陣によるもの。
- ・冊子はまちなかの店舗のほか、市役所や沼津コート(ららぽーと沼津内)、沼津駅南口地下道ショーケースでも配布予定です。
- ・市ホームページや公式 SNS で情報発信しています。

【公式 SNS】

Facebook:numazumachikan

Instagram:numazu\_machikan

※記者室にて冊子を配布いたします。ぜひご覧ください。



お問い合わせ先

沼津市役所 産業振興部 商工振興課  
直通:055-934-4748



きらり沼津。次の100年へ

NUMAZU

まちの  
感 触

vol.8

集

沼津の「集」にまつわる個店の深〜い話

NUMAZU

まちの  
感 触

＼ SNSでも情報発信しています /



#沼津まち感

# 五感で感じる まちなか商業

沼津の駅前、いつもの日常、いつものお店。買い物の途中、ふと、あのお店が光景が目飛び込む。「あれ。このお店、なにやら人が集まって楽しそうだなー」なんとなく『集』を気にして、まちを歩くと、あのお店にも、この通りにも、個性あふれる『集』があるではないですか！さらに、五感をフル回転してみると、日常に溶け込んでいたまちの色、音、匂い、その感触は、今まで見えていなかったまちの奥深い魅力に気付くきっかけとなりました。

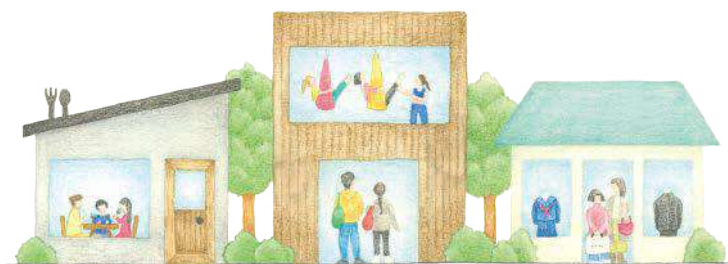
今回はそんな『集』をテーマに、沼津のまちなかの特徴ある個店取材。『集』に秘められたひとつひとつのお話には、深い深い魅力が詰まっていた。さあ、いつものまちとお店を、ちょっと違った視点で楽しんでみよう！

## CONTENTS

- 02 沼津市中心市街地MAP
- 03 特集  
心地よく集う個店でまちの深みを感じる
- 05 Le Temps Oublier
- 07 ねこと白鳥
- 08 OTHERS
- 09 「あの人に会いたい」魅力的な店主のいる店  
PILATIS BODY STUDIO /  
開運処 むさしや / MATAHARI
- 11 マニアック、集まる！  
りぐる / 倉敷センキ /  
チャトラコーヒー / ぬまたく
- 13 地域CREATORのまちなかの集
- 14 編集後記



沼津駅を中心に南と北、それぞれのエリアを感じる今回のテーマは『集』。集を感じてまちを歩けば、個性的な個店が醸し出すまちの濃淡に気づくかも！



### 特集

## 心地よく集う個店で まちの深みを感じる

仲間と気軽に集える場所、好きなモノが集まる所、個々の魅力がひしめく空間・・・、まちなかにある『集』のキーワードには、一人一人の好きの集積があります。まちの個店には、それぞれの心地よい『集』が溢れています。

例えば、まちのフレンチレストラン。気心の知れた友人同士や家族が集ったり、居心地の良い空間を求めてお一人さまが集まったり、店主の心くばり、心地よい時間を過ごしてほしいという思いに、人が集っています。心地よい空間づくりの為に、提供するお料理やサービスはもちろん、店内の空間づくりにも『集』への気くばりがありました。『集』からはじまるお店やまちの奥深さ、もっと知りたいと思いませんか？

# 集う心地よさ



「楽しかったね」と  
帰路についてもらえたら最高。

人生の特別な場面や記念日の食事にウブリエを選ぶ人は多い。一方で、何気ない週末にせっかくだったらおいしい物でも食べようかと気軽に来てもらうのも、同じくらい嬉しいと北川さん夫妻は言う。基本的には自分たち自身が食べたいものしかない、というお二人の休日は、ワインと食事を楽しむお出かけが定番。おいしさや心地よさの探求にオンオフはない。



「角打うぶりえ」で味わう  
本格ナチュラルワイン

「角打うぶりえ」が始まったのは2022年の沼津夏祭りの日。オーナーの「たくさんの方に気軽にナチュラルワインを楽しんでほしい」という思いから。予約なしで立ち寄れるという気軽さで人気が高い。1品400円からの角打ちコーナー向け単品メニューもあるので、キャロットラペや生ハム、フロマージュの盛り合わせなどをワインに合わせて頼むのもいい。(メニューは変更の可能性があります)



Le Temps Oublier  
(ウブリエ)

静岡県沼津市大手町2-3-18  
TEL 055-913-2315  
営業時間 17:00～21:30 定休日 火・水曜・不定休(Instagramにて告知)  
📍

リラックスすることでおいしさが増す。  
漂う心地よさに集うとき。



戸田や千本浜で拾った流木で作った箸置きや、ワインボトルの底部を利用したグラスなど、細部に夫婦のセンスの良さが光る「Le Temps Oublier(ウブリエ)」。時を忘れて、の店名の如くゆったりとした豊かな時間が流れる。夫の北川友章さんが料理を担当し、妻でソムリエのさやかさんがスイーツを作ったりワインのセレクトをする隠れ家的フレンチレストラン。現在はお任せのフルコースもしくは HALF コースのディナーのみ。前日16時までに予約をお願いしている。

お店について伺うと「あたたかい感じのする場所でありたい」と北川さん夫妻は口を揃える。「親戚を迎えるような親しみのある雰囲気でお客様を迎えたい。緊張しながら食事をするより、リラックスした方がおいしさをじっくりと感じられるから」。そんな二人の醸し出すやさしさが漂うお店に人は集い、笑顔が溢れる。ナチュラルワインのストックは1000本以上。素材のよさを最大限に引き出し、丁寧につくられた料理の数々に合わせてワインをペアリングすれば、味わいはさらに深みを増す。

## どこにも属さない‘OTHERS’たちが 街なかに集う



2007年開業。店内には雑貨や服飾小物、植物など、オーナーの加藤さんの好きなものや影響を受けたものなどが所狭しと並ぶ。18歳で沼津を出て24歳で帰国するまで、オーストラリアやアメリカに滞在。スケートボードと音楽漬けの日々を過ごしたという。アメリカの大学では美術を専攻していたこともあり、店にあるオリジナル商品は自身でデザインを手がける。

店舗脇にはテーブル1つと椅子2脚があり、コーヒーや瓶ビールなどのドリンクを注文して休憩する人も多い。立ち話の延長で席に着くような気軽さで、居合わせたお客さん同士が仲良くなることもある。無理に何かを勧めたりはしないのでお客さんのペースでゆっくり商品を見てほしいと話す。「流行とは全く関係ないものばかりがあるから、商売は大変」と笑う。

加藤さんの飾らない人柄と、センスが光るラインナップに吸い寄せられるように今日も人々はゆるやかに集う。



**OTHERS**  
(アザーズ)

静岡県沼津市町方町2  
TEL なし  
営業時間 13:00~20:00 定休日 毎週水曜・第2第3日曜

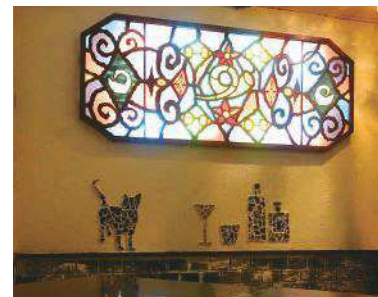
## 地下に広がる 不可思議な空間に集う



名前が印象的なその店はビルの地下にある。外からは想像しにくいけれど、奥行きは意外なほどに広々としていて、本格的なライブが不定期で開催されたりしている。外の光が一切入らない店内では、青々とした葉物野菜が水耕栽培されライトに照らされている。この場所はかつて純喫茶「白鳥」という名で人々の社交場として賑わっていたそうで、店内の大きな噴水の跡が当時の様子を想像させる。

「ねこと白鳥」には、お酒を飲まない方も多く来店するということで、飲まずとも楽しい時間を過ごせるようパフェや焼き菓子などのスイーツも豊富に揃う。パフェを囲んだノンアルコール女子会、ウイスキーとパフェを味わう仕事帰りの方たち、カクテルと音楽を愉しむカップルなど、ここでの集い方の幅は実に広い。

西浦レモンの自家製シロップとリモンチェッロを使用した特製レモンサワーもおすすめ。「約束のレモンサワー」というロマンティックなネーミングも店の雰囲気にもマッチしている。



**ねこと白鳥**

静岡県沼津市大手町5-7-5 B1F  
TEL 055-962-0425  
営業時間 17:00~24:00 (フードラストオーダー23:00、ドリンクラスト23:30)  
定休日 日曜 (連休と重なる場合は変動)



## 目には見えない運気をつかむ みんなの応援団

明治39年から沼津市本町で100年以上にわたり、化粧品と雑貨を扱ってきた「むさしや」。宝くじの5億円当選が出た売り場としても有名だが、このたび「開運処むさしや」としてリニューアルした。これまでの化粧品と宝くじの販売に加え、新たにバスソルトやアロマオイルなどのワークショップもスタート。83歳現役美容部員の公代さんによる開運眉メイクは今も男女問わず人気で、眉を整えれば不思議と気持ちが前向きに変わっていく。笑顔で迎えるスタッフたちが、心も体も財布の中まであったまる、街のパワースポットとしてあなたを応援してくれる。

### 開運処 むさしや

静岡県沼津市下本町48

TEL 055-962-1657

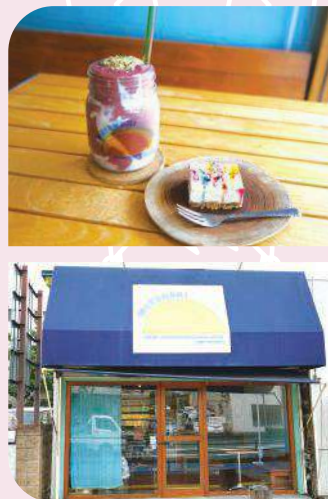
営業時間 10:00~19:00

定休日 日曜

<https://www.musashiya.shop/>   

## 体も心も健康に 陽だまりみたいな場所

マタハリに入店すると店主の窪田真菜さんが明るくあたたかな笑顔で迎えてくれる。マタハリとはインドネシア語で「太陽」の意味。お店をはじめたら、体にも地球環境にも良いものを提供したいと、水分や砂糖を加えないコールドプレスジュースやグルテンフリーのローズスイーツを中心に製造販売している。ショーケースに並ぶ酵素シロップのラベルを見ると西浦や大中寺など馴染みの地名が書いてあり、そこから地元を大切にしていることが伝わってくる。常連客の中には、コールドプレスジュースをリットル単位で大量注文する方や、犬の散歩コースになっている方も。すでにお店が生活の一部に溶け込んでいる。



### MATAHARI

静岡県沼津市三芳町1-28

TEL 055-952-3695

営業時間 木~土 11:00~19:00 / 日 13:00~18:00

定休日 月~水曜



## 人生が変わる “ピラティス道”へあなたを導く

ピラティスは今の身体の位置を把握して正しく調整することで、効率よい身体の動かし方、身体感覚を習得する。知ると生き方まで変わっていくという。「ピラティスは武道や茶道に似ているんです」と代表の櫻井淳子さんは話す。約18年前、研究者だった櫻井さんは産後の重い体調不良に悩まされていた。その時に偶然ピラティスに出会い、それによって人生が変わった。その理由を、哲学を知りたいという探究心に突き動かされ、アメリカで勉強を重ねる日々。その後、2010年にスタジオを設立、全国フィットネス業界で最優秀賞を2度受賞。今も全国から多くの方が訪れている。





### PILATES BODY STUDIO

静岡県沼津市高島町25-18 綾栄ビル2F

TEL 055-926-4402

営業時間 火~金 10:00~21:00 / 土 9:00~16:00 / 日 9:30~17:00

定休日 月曜

<https://www.pilates-body.jp/>    

店主の手柄に魅力を感じて人が集まる店がある。カリスマ性、店の雰囲気、素敵な店主と一緒にすごせる場所が、かけがえない大切な時間として存在する。

# 「あの人に会いたい」 魅力的な店主のいる店

ひとつのことに熱中する人が集まる熱狂、  
沼津のまちなかで見つけました。



チャトラコーヒー

## 人が集まりつながる 沼津の珈琲焙煎所

代表の古谷哲成(のりまさ)さんは、2021年に帰郷し、珈琲焙煎所「チャトラコーヒー」をスタートさせた。“コーヒーで穏やかな日常を”テーマに、イートインスペースを設けた店舗を2022年12月に本格オープン。「スペシャルティコーヒー協会」が定める味や香りなどの評価基準を満たし、生産地からお客様が手にするまでの流通経路が明確であるスペシャルティコーヒーを取り扱う。古谷さんのおいしいコーヒーを求め、人が集まり、自然とつながっていく。それが、古谷さんが珈琲焙煎人になった理由であり、コーヒーの魅力なのだとか。

静岡県沼津市大手町5-4-6 TEL 050-3554-3600  
営業時間 平日 8:00~18:00 / 土日祝 10:00~17:00 定休日 水曜  
<https://chatoracoffee.com/> @chatoracoffee



りぐる

## このチームで踊りたい! 観た人を魅了する“りぐるよさこい”

日常生活を豊かにし、自分らしさを表現できるアイテムに出会えるセレクトショップ「りぐる」。伝統的な和柄や、心が晴れやかになる色柄をデザインする高知の和雑貨ブランド「ほにや」のサポートショップでもある。店主の中川尚子(ひさこ)さんは、“沼津をもっと元気にしたい”と、2013年によさこいチームを立ち上げた。踊る人も観る人も楽しめる「りぐるよさこい」で踊りたいと、県内外から踊り子が集まっている。年齢、性別、職業の垣根を越え、素晴らしい演舞を創り上げることに集中するチーム。人生を豊かにするサードプレイスとなっている。

静岡県沼津市大手町3-5-22 TEL 055-962-0981  
営業時間 10:00~18:30 定休日 水曜  
<http://www.riguru-n.com/>

卓球専門店  
ぬまたく



## 初めての方も大歓迎! 卓球の楽しさ教えます

卓球専門店「ぬまたく」は、指導歴40年以上の瀬山隆史さんが代表を務める卓球教室「ぬまたくクラブ」を併設している。市内外より幼稚園児から80代までの卓球愛好者が集い、健康維持や、試合で勝つための技術向上を目指すなど、生徒それぞれが目標に向かって練習に励んでいる。全国大会で数々の輝かしい成績を残し、選手として活躍した息子の辰男さんたち経験豊富なコーチが、生徒ひとりひとりの良さを引き出す指導を行っている。1時間の体験教室や見学など、卓球を始めたい方は、ホームページ、電話でお気軽にお申込みを。

静岡県沼津市新宿町17-18 TEL:055-923-2851  
営業時間 平日 10:00~21:00 / 土日祝 10:00~18:00  
定休日 月曜  
<http://www.numataku.com/>

倉敷センキ



## 自分にピッタリのドレスを求めて 県内外から愛好家が集まる店

沼津市内の中学校、高校の制服を取り扱う、昭和32年創業「倉敷センキ」。会長の鈴木勝雄さんと晶子さん夫婦が、約20年前に社交ダンスの衣装の販売を始めた。最初は地味な色やデザインを選びがちという衣装選び。「ドレスが躍るくらい派手な方がステージ映えるの。せっかく踊るなら目立たなきゃ!」晶子さんのひと言に背中を押され、「踊ったらとても華やかで勤めてもらったドレスにしてよかった」という声も。社交ダンス歴20年以上の経験を活かし、ダンスシーンやワルツ、ルンバなどの曲にピッタリのドレスやアイテム選びを提案してくれる。

静岡県沼津市新宿町7-11 TEL 055-921-5102  
営業時間 9:30~19:00 定休日 12月~5月 無休 / 6月~11月 水曜  
<https://www.gakuseifuku-kurashikisen-i.com/>



## 編集後記



「五感で感じる」というテーマではじまった、まちなか商業の魅力発見BOOK、第8号は、『集』にフォーカスしました。個店の『集』にまつわる人や時間や空間が、いつもとは違うお店の魅力に気付くきっかけになれば幸いです。さて、『集』の感触が再び心地よく感じられたシーンがこのところよみがえってきたように感じますが、いかがでしょうか。五感にはリアルな感覚を研ぎ澄ますことで、豊かな受け取りができるもののように思います。集えることの喜びも、いつもはあたり前のような事ですが、ちょっと新鮮な気持ちで感じると、新しい発見があるのではないのでしょうか。さあ、五感を研ぎ澄まして、まちを歩いてみよう。

NUMAZU まちの感触 vol.8  
2022年12月28日発行

発行 沼津市商工振興課  
〒410-8601 静岡県沼津市御幸町16-1

制作進行	増田陽一 (SBSプロモーション沼津支社)
アートディレクション・デザイン	大木真実 (NDC&DESIGN INC.)
撮影 (表紙・P3~P6)	梁充克 (minori photo works)
イラスト	大嶽りや (Lib.)
取材・執筆	宮代博美 (P5~P8)
	森岡まこば (P9~P10)
	増田都佳佐 (P11~P12)

## 本誌制作 地域CREATOR のまちなかの集



今まで色々なものを収集しては、飽き…を繰り返し、現在進行形で集めているものといえば旅先のご当地マグネット。沼津では、はまゆう、松林、駿河湾、愛鷹山からの富士山がデザインされたおなじみのマンホールを模したマグネットがあります。収集癖がくすぐられるマニアックなまちなかご当地アイテム、欲しいです！  
大木真実



親しい友人や家族と集うなら、華味の円卓の席で美味しい中華を食べたい！いろいろな味をシェアできるし、円卓ならみんなの顔も見えて楽しいものです。さらに中心の回転テーブルのおかげでご馳走が並んでも取りやすいなんて。沼津一集い易いテーブルのあるお店なのでは！？  
大嶽りや



風のテラスや中央公園で知人にバツタリ。自然と人が集まる居心地の良い場所がたくさんあります。「集」といえば、創刊号から配布にご協力いただいている「沼津コート」さんと、まちの感触を集めてくださっている方に偶然お会いできたこと、とても励みになっています。  
増田都佳佐



「まちの感触」の制作を進めれば進めるほど、沼津市は、クリエイティブなスキルを持った方が、横で結構多くつながっていて集まっているまちだなあと実感しています！皆さんで集まって大きな仕事をぜひしてみたいです！  
増田陽一



沼津駅南口にある豊亭で、餃子を1人前頼んだら「おまけ」と言って3人前出てきました。次に瓶ビールを頼んだらサンマの塩焼きが付いてきて。そんなことされたらますます集まりたくなっちゃいます。  
宮代博美



純喫茶好きの友人がくると決めてケルンに案内します。ご高齢の店主に「急がなくても大丈夫ですよ」「メニューは自分で運びます」なんて、常連客にまじって話していると一体感が生まれ、なんとも言えない気持ちに。こういうお店がある沼津が好きです。  
森岡まこば



携帯電話がなかった頃、自然とあそこに行ったら誰かに会えるとか、なんとなくみんなが集まり出して遊び始めるとか、そんな感覚が懐かしいです。自然とみんなが集まる場所やお店。沼津にもっとふえたら嬉しいです。  
梁充克